

# 共通教育科目

## 【人間科学科目】

- ・ 教育課程編成・実施の方針  
(カリキュラムポリシー)
- ・ 教育目標と理念
- ・ 履修モデル
- ・ 授業科目配当表

## 【英語科目】

- ・ 教育課程編成・実施の方針  
(カリキュラムポリシー)
- ・ 教育目標と理念
- ・ 履修モデル
- ・ 授業科目配当表

## 【数学科目】

- ・ 教育課程編成・実施の方針  
(カリキュラムポリシー)

## 【物理学科目】

- ・ 教育課程編成・実施の方針  
(カリキュラムポリシー)

## 【化学科目】

- ・ 教育課程編成・実施の方針  
(カリキュラムポリシー)

# 共通教育の教育課程編成・実施の方針 (カリキュラムポリシー)

## <人間科学科目>

工学部第二部の人間科学科目は、今日の科学技術者に必要な基礎的な能力と幅広い教養を身につける科目です。そのため、5つの領域（スポーツ・健康、人間理解、社会理解、異文化理解、技術者教養）を学生がバランスよく学習できるように教育課程を編成し、実施します。

## <英語科目>

工学部第二部の英語科目は、国際人として必要な英語のコミュニケーションの基本を身につけること、及び将来エンジニアとして自分の考えを発表し伝達しようとする積極的態度を涵養することを柱とし、学生によって異なる英語力に対応するために、基幹科目と発展科目を学習できる教育課程を編成し、実施します。

基幹科目では、英語の総合的な能力の涵養を図ります。発展科目では、アカデミックな話す力、聞く力、読む力、書く力など、技能別スキルの向上を図ります。

## <数学科目>

工学部第二部の数学科目は、科学技術者となるために必要不可欠な基礎的数学を柱として、それぞれの専門分野に関連の深い専門的な数学を学習できるように、教育課程を編成し、実施します。

## <物理学科目>

工学部第二部の物理学科目は、理工系専門科目の理解に必要不可欠な質点力学を柱とする基礎物理学を体系的に学べるように、さらに、自然法則の確認と測定技術の修得を目指す実験科目を学習できるように、教育課程を編成し、実施します。

## <化学科目>

工学部第二部の化学科目は、専門科目を履修するための基礎となる化学の原理や理論を確実に修得させることを柱とし、(1) 実験科目を通じて基礎的な実験技術を習熟させ、(2) 創造的なものづくりへの意欲を育み、(3) 化学的な知識や見方を身につけさせ、さらに(4) 科学技術者として求められる問題解決力、課題探求力、表現力などを涵養するよう、教育課程を編成し、実施します。

## 人間科学系列の教育目標と理念

社会人として活動するための基礎的な素養を習得させ、情報化、国際化の進展する現代日本社会で活動するための教養教育を展開する。その際、工学部における専門教育との関係性に十分配慮し、これからの技術者に求められる、柔軟で豊かな見識を育むための基礎を培うことを念頭におくことを理念とし、豊かな人間性と幅広い教養を育みつつ、将来の社会生活に必要な論述力、討議能力やプレゼンテーション能力、さらには異文化理解能力や健康管理能力、そして人間にとって最も基本的な論理的思考能力の育成を目標とする。

## 工学部第二部 人間科学科目履修モデル

卒業所要単位における必要な単位数（人間科学科目 8 単位）

科目区分		人間科学科目		単位数
教育・学習目標		社会人としての基本的な素養を習得するための科目、技術者としての視野を幅広く獲得するための科目、さらに社会における科学技術の意義や問題点を探求する人間科学科目を学習することによって、専門教育と相互に補完しつつ 21 世紀の技術者に要請されるさまざまな資質を総合的に陶冶することを目標とする。		
履修推奨科目	1年	前期	人間科学科目 (1科目、体育基礎も含む)	2
			人間科学科目 (1科目、体育基礎も含む)	0か2
		後期	人間科学科目 (1科目、体育基礎も含む)	2
			人間科学科目 (1科目、体育基礎も含む)	0か2
	小計			6
	累計			6
	2年	前期	人間科学科目 (1科目、体育基礎も含む)	2
			人間科学科目 (1科目、体育基礎も含む)	0か2
		後期	人間科学科目 (1科目、体育基礎も含む)	2
			人間科学科目 (1科目、体育基礎も含む)	0か2
	小計			6
	累計			12
	3年	前期	人間科学科目 (1科目、体育基礎も含む)	2
			人間科学科目 (1科目、体育基礎も含む)	0か2
		後期	人間科学科目 (1科目、体育基礎も含む)	2
			人間科学科目 (1科目、体育基礎も含む)	0か2
	小計			6
	累計			18
4年	前期			
	後期			
小計				
総計			18	
合計科目数			18	

新入生へ

学  
習

UNIP  
A

共通

NE

NM

NC

資格  
教職

学生  
生活

施  
設

就職・  
進学

学則・  
規程

その他

問  
答  
マ  
ニ  
ュ  
ア  
ル

2014（平成26）年度  
工学部第二部 人間科学科目 授業科目配当表

人間科学科目（2014）-1

区分	科目名	コマ	単位	必 選 自	配 当 年	配 当 期	備 考
共通教育科目 人間科学科目	哲学入門	1	2	選	全	半期(前/後)	哲学Aと同時開講
	自己心理学セミナー	1	2	選	全	半期(前/後)	こころの科学Aと同時開講
	法律入門	1	2	選	全	半期(前/後)	法学Aと同時開講
	企業と経営	1	2	選	全	半期(前/後)	経営学概論Aと同時開講
	歴史理解の基礎	1	2	選	全	半期(前/後)	歴史学Aと同時開講
	情報化社会とコミュニケーション	1	2	選	全	半期(前/後)	
	情報倫理	1	2	選	全	半期(前/後)	
	情報と職業	1	2	選	全	半期(前/後)	
	日本国憲法	1	2	選	全	半期(前/後)	
	日本経済入門	1	2	選	全	半期(前/後)	
	比較文化論	1	2	選	全	半期(前/後)	
	情報とネットワークの経済社会	1	2	選	全	半期(前/後)	ネットワーク経済と同時開講
	科学技術と企業経営	1	2	選	全	半期(前/後)	経営工学と同時開講
	介護福祉論	1	2	選	全	半期(前/後)	
	認知心理学	1	2	選	全	半期(前/後)	
	記号論理学	1	2	選	全	半期(前/後)	
	技術者倫理	1	2	選	全	半期(前/後)	
	情報化社会と知的財産権	1	2	選	全	半期(前/後)	
	科学の社会史	1	2	選	全	半期(前)	科学技術史Aと同時開講
	技術の社会史	1	2	選	全	半期(後)	科学技術史Bと同時開講
	科学技術と現代社会	1	2	選	全	半期(前/後)	
	ドイツ語Ⅰ	1	2	選	全	半期(前)	原則としてⅠ・Ⅱの順に履修すること
	ドイツ語Ⅱ	1	2	選	全	半期(後)	原則としてⅠ・Ⅱの順に履修すること
	健康と体力	1	2	選	全	半期(前/後)	
	体育基礎Ⅰ	1	1	選	全	半期(前)	
	体育基礎Ⅱ	1	1	選	全	半期(後)	
	異文化理解A	1	2	選	全	半期(前/後)	
	異文化理解B	-	2	選	全	半期(前/後)	平成26年度開講せず
	アウトドアスポーツA	1	1	選	全	半期(後)	集中講義
	アウトドアスポーツB	1	1	選	全	半期(後)	集中講義
	アウトドアスポーツC	1	1	選	全	半期(後)	集中講義
	ヨーロッパ学入門	1	2	選	1	半期(前/後)	社会人コース公開科目
	中国語Ⅰ	1	2	選	1	半期(前)	社会人コース公開科目
中国語Ⅱ	1	2	選	1	半期(後)	社会人コース公開科目	

## 英語系列の教育目標と理念

グローバル化の進展により、海外との英語によるコミュニケーションが身近になり、エンジニアにとって英語を用いて最新情報の収集・発信を行うことは、今や日常的になってきています。そのため、エンジニアの活躍の場は国内外に広がり、より高度な英語力を身につけることが求められるようになりました。また、さまざまな国の事情や文化について理解を深め、異なる文化を持つ人々と交流する上においても英語は必要不可欠なコミュニケーションの手段となっています。これらの社会情勢に即し、英語系列では、まず学生の現在の英語力を診断し、それに基づいた習熟度別の指導体制を採っています。それぞれに求められる語彙・語法・文法・発音などの基礎知識の習得を中心に、英語運用能力、すなわち、「読む」・「書く」・「話す」・「聴く」の4技能をバランスよく向上させる教育を行います。

新入生へ

学習

UNIPA

共通

NE

NM

NC

資格・教職

学生生活

施設

就職・進学

学則・規程

その他

問・答・マップ

## 英語科目履修モデル

卒業所要単位における必要な単位数（英語科目 5 単位）

### ■英語履修モデルの見方

この履修モデルは、レベル別の履修の例を示したものである。しかし、レベルについては固定的に考えるのではなく、英語力を伸ばし、上のレベルに移行することを目指して学習に取り組むこと。基幹科目（英語Ⅰ～Ⅳ）においては授業もレベル別に行われるが、学年や学期の区切りで英語力の伸長状況によりクラスの移動もありうる。

対象		英語初級クラス		英語中・上級クラス		
教育・学習目標		英語入門レベルの学生に対して、英語の基本的な文法事項と語彙の定着を徹底させ、4技能を総合的に学習させる。英語基幹科目（英語Ⅰ～Ⅳ）を中心にした履修を推奨する。		英語中・上級レベルの学生に対して、英語の文法事項と語彙を充実させながら、4技能の運用力を向上させる。英語の基幹科目（英語Ⅰ～Ⅳ）を中心に履修を推奨するが、興味、学力に応じて、発展科目（検定英語、英語表現、英語演習、英会話）の履修も可能である。		
履修推奨科目	1年	前期	英語Ⅰ	1	英語Ⅰ	1
			オールラウンドコミュニケーションⅠ / メディア英語Ⅰ	1	オールラウンドコミュニケーションⅠ / メディア英語Ⅰ	1
		後期	英語Ⅱ	1	英語Ⅱ	1
			オールラウンドコミュニケーションⅡ / メディア英語Ⅱ	1	オールラウンドコミュニケーションⅡ / メディア英語Ⅱ	1
	小計			4		4
	累計			4		4
	2年	前期	英語Ⅲ	1	英語Ⅲ	1
					(検定英語Ⅰ, 英語表現Ⅰ)	(1)
		後期	英語Ⅳ	1	英語Ⅳ	1
					(検定英語Ⅱ, 英語表現Ⅱ)	(1)
	小計			2		2～
	累計			6		6～
	3年	前期			英語演習Ⅰ, 英会話Ⅰ	1
					(海外英語短期研修)	(2)
後期				英語演習Ⅱ, 英会話Ⅱ	1	
				(海外英語短期研修)	(2)	
小計			0		2～	
累計			6		8～	
4年	前期			入門ビジネス英語Ⅰ	1	
				(海外英語短期研修)	(2)	
	後期			入門ビジネス英語Ⅱ	1	
小計			0		2	
総計			6		10～	
合計科目数			6		10～	

注意：  
海外英語短期研修は、2単位が上限。

2014(平成26)年度  
工学部第二部 英語科目 授業科目配当表

英語(2014)-1

区分	科目名	コマ	単位	必 選 自	配 当 年	配当期	備考
共通教育科目	英語Ⅰ	1	1	選	1	半期(前)	習熟度別
	英語Ⅱ	1	1	選	1	半期(後)	習熟度別
	オールラウンドコミュニケーションⅠ	1	1	選	1	半期(前)	メディア英語Ⅰと択一選択
	オールラウンドコミュニケーションⅡ	1	1	選	1	半期(後)	メディア英語Ⅱと択一選択
	メディア英語Ⅰ	1	1	選	1	半期(前)	オールラウンドコミュニケーションⅠと択一選択
	メディア英語Ⅱ	1	1	選	1	半期(後)	オールラウンドコミュニケーションⅡと択一選択
	英語Ⅲ	1	1	選	2	半期(前)	習熟度別
	英語Ⅳ	1	1	選	2	半期(後)	習熟度別
	検定英語Ⅰ	1	1	選	2	半期(前)	
	検定英語Ⅱ	1	1	選	2	半期(後)	
	英語表現Ⅰ	1	1	選	2	半期(前)	
	英語表現Ⅱ	1	1	選	2	半期(後)	
	英語演習Ⅰ	1	1	選	34	半期(前)	
	英語演習Ⅱ	1	1	選	34	半期(後)	
	英会話Ⅰ	1	1	選	34	半期(前)	
	英会話Ⅱ	1	1	選	34	半期(後)	
	海外英語短期研修	-	2	選	1234	半期(前/後)	集中講義
	入門ビジネス英語Ⅰ	1	1	選	1	半期(前)	社会人コース公開科目
入門ビジネス英語Ⅱ	1	1	選	1	半期(後)	社会人コース公開科目	

新入生へ

学  
習

UN  
IPA

共通

NE

NM

NC

資格  
教職

学生  
生活

施  
設

就職  
進学

学則  
規程

その他

問  
答  
マ  
シ  
ン

# 専門教育科目

## 【電気電子工学科 (NE)】

- ・ 人材の養成に関する目的  
その他の教育研究上の目的
- ・ 学位授与の方針  
(ディプロマポリシー)
- ・ 教育課程編成・実施の方針  
(カリキュラムポリシー)
- ・ 教育目標と理念
- ・ 履修モデル
- ・ 授業科目配当表

## 電気電子工学科の人材の養成に関する目的 その他の教育研究上の目的

電気電子工学科は、電気工学と電子工学及びその統合分野と関連分野に関する基礎から応用までの総合的な知識と技術を有し、現代社会が直面する問題を解決し、進んで社会の発展に寄与することのできる人材を養成することを目的とする。

すなわち、現代社会において必要とされる電気電子工学技術とその進展に貢献することのできる実践的技術者養成のための教育研究を行う。

## 電気電子工学科の学位授与の方針 (ディプロマポリシー)

工学部第二部の電気電子工学科は、本学部の学位授与の方針をもとに、本学科に所定の期間在学し(※)、以下のすべてを満たした者に対して、学士(工学)の学位を授与します。

(1) 一般教養、外国語(英語)を含めた基礎的なコミュニケーション能力、工学全般に関する広い知識と理解力、工学の電気電子工学分野に関する知識、並びに深い考察力と課題解決力を兼ね備えること。

(2) エコエネルギー分野、生体情報システム分野、スマートシステム分野、エレクトロデバイス分野などの、電気電子工学のより専門的な分野、並びに社会に対する技術の責任を自覚する能力(技術者倫理)を身につけること。

※標準修業年限は4年。

## 電気電子工学科の教育課程編成・実施の方針 (カリキュラムポリシー)

工学部第二部の電気電子工学科は、基礎学力を柱として、電気電子工学の分野の基礎を学べる教育を展開し、教育課程を編成し、実施します。また、電磁気学、回路理論、半導体デバイス・電子材料・物理、パワーエレクトロニクス・電気機器、計測・制御システム、電力・エネルギー応用、電子回路・装置、コンピュータ・情報システムの8分野を、系統的かつ専門的に学習できるように教育課程を編成し、実施します。

また、英語科目と技術者倫理の学習機会を、全学年において提供します。

## 電気電子工学科の教育目標と理念

電気電子工学はすべての産業分野に関わる基幹分野として、近年、益々発展しており、省エネルギー・省資源・省力化を実現し、環境問題を解決し、人類の福祉と発展に貢献する要の分野としてその重要性を増している。このような状況を考慮し、本学科は、電力・エネルギー応用、電気機器・パワーエレクトロニクス、電子回路・装置、計測・制御システム、コンピュータ・情報システム、半導体デバイス・電子材料の6分野に亘る授業科目を配することにより、社会や産業界の要請に適合する基礎学力、並びに、専門技術に関する知識を有するとともに、創造性豊かで、コミュニケーション能力を備えた人材を養成することを教育目標としている。

新入生へ

学  
習

U  
N  
I  
P  
A

共通

**N  
E**

N  
M

N  
C

資格  
教職

学生生活

施  
設

就職・進学

学則・規程

その他

問  
答  
マ  
ツ

# 電気電子工学科 分野別推奨履修モデル

☆：必修科目    ◎：特に修得すべき科目    ○：修得すべき科目    ◯：できれば修得する科目

本学科では、電気電子工学固有の分野並びに広範な電気電子系関連分野の発展に貢献できる視野の広い専門技術者を育成するようカリキュラムを構成しています。卒業後何れの分野に進んだ場合でも柔軟に対応できる十分な基礎学力を低学年時において十分に修得しつつ自ら興味のある分野を選択し、その後、選択した分野に焦点を合わせて学習を積み重ねて、卒業時には少なくとも一つの得意とする専門分野を修得してください。どうか広い視野にたつて履修計画を立て学習されることを希望します。

学習・教育目標	配当期	科目名	単位数	分野名				
				電力・エネルギー応用	電気機器・パワーエレクトロニクス	電子回路・装置	計測・制御システム	コンピュータ・情報システム
1年前期科目	物理学Ⅰ	2	☆	☆	☆	☆	☆	☆
	回路理論および演習Ⅰ	②	☆	☆	☆	☆	☆	☆
	微分積分学および演習Ⅰ	④	☆	☆	☆	☆	☆	☆
	コンピュータ基礎Ⅰ	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	線形代数学Ⅰ	2	○	○	○	○	○	○
1年後期科目	化学Ⅰ	2	○	○	○	○	○	○
	回路理論および演習Ⅱ	②	☆	☆	☆	☆	☆	☆
	物理学Ⅱ	2	○	○	○	○	○	◎
	コンピュータ基礎Ⅱ	2	○	○	○	○	◎	○
	微分積分学および演習Ⅱ	4	○	○	○	○	○	○
2年前期科目	線形代数学Ⅱ	2	○	○	○	○	○	○
	化学Ⅱ	2	○	○	○	○	○	○
	電気電子工学基礎実験Ⅰ	②	☆	☆	☆	☆	☆	☆
	電磁気学および演習Ⅰ	④	☆	☆	☆	☆	☆	☆
	回路理論および演習Ⅲ	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎
2年後期科目	電気電子計測Ⅰ	2	◎	◎	◎	◎	○	○
	デジタル回路Ⅰ	2	○	○	◎	○	◎	○
	プログラミングおよび演習	2	○	○	○	○	◎	○
	微分方程式Ⅰ	2	○	○	○	○	○	○
	物理学Ⅲ	2	○	○	○	○	○	◎
3年前期科目	電気電子工学基礎実験Ⅱ	②	☆	☆	☆	☆	☆	☆
	電磁気学および演習Ⅱ	4	○	◎	◎	◎	○	◎
	回路理論および演習Ⅳ	2	◎	◎	◎	◎	○	○
	電子デバイスⅠ	2	○	○	○	○	○	◎
	電気電子計測Ⅱ	2	○	○	○	◎	○	○
3年後期科目	物性物理学	2	○	○	○	○	○	◎
	デジタル回路Ⅱ	2	○	○	◎	○	◎	○
	微分方程式Ⅱ	2	○	○	○	○	○	○
	電気電子工学実験Ⅰ	②	☆	☆	☆	☆	☆	☆
	過渡現象	2	◎	◎	◎	◎	◎	○
3年後期科目	電子回路Ⅰ	2	○	○	◎	◎	◎	○
	電気機器Ⅰ	2	◎	◎	○	◎	○	○
	高周波回路	2	○	◎	◎	◎	○	○
	電気電子材料	2	◎	○	○	○	○	◎
	電子デバイスⅡ	2	○	○	○	○	○	◎
3年後期科目	信号処理	2	○	○	○	◎	◎	○
	確率・統計	2	○	○	○	○	○	○
	電気電子工学実験Ⅱ	②	☆	☆	☆	☆	☆	☆
	電子回路Ⅱ	2	○	○	◎	◎	◎	○
	制御工学Ⅰ	2	○	○	◎	◎	○	○
3年後期科目	電気機器Ⅱ	2	◎	◎	○	○	○	○
	パワーエレクトロニクス	2	○	◎	○	○	○	○
	電力系統工学Ⅰ	2	◎	○	○	○	○	○
	情報理論	2	○	○	○	○	◎	○
	計算機アーキテクチャ	2	○	○	○	○	◎	○
3年後期科目	通信方式	2	○	○	◎	○	○	○
	複素解析学	2	○	○	○	○	○	○

配当期	科目名	単位数	分野名					
			電力・エネルギー応用	電気機器・パワーエレクトロニクス	電子回路・装置	計測・制御システム	コンピュータ・情報システム	半導体デバイス・電子材料
4年 前期 科目	電気電子工学演習	①	☆	☆	☆	☆	☆	☆
	卒業研究(通年)	3	○	○	○	○	○	○
	制御工学Ⅱ	2	○	○	○	◎	○	○
	センサ工学	2	○	○	○	○	○	◎
	発電工学Ⅰ	2	◎	○	○	○	○	○
	システム工学	2	○	○	○	○	◎	○
	電力システム工学Ⅱ	2	◎	○	○	○	○	○
	電気法規	2	○	○	○	○	○	○
	光・電磁波工学	2	○	○	◎	○	○	◎
	ユビキタス無線工学	2	○	○	◎	○	○	○
4年 後期 科目	品質管理	2	○	○	○	○	○	○
	高電圧工学	2	◎	○	○	○	○	◎
	ロボット工学	2	○	○	○	◎	○	○
	無線機器学	2	○	○	◎	○	○	○
	電機設計および電気製図	2	○	○	○	○	○	○
	通信法規	2	○	○	○	○	○	○
特許法	2	○	○	○	○	○	○	

新入生へ

学  
習

UNIPPA

共通

NE

NM

NC

資格・教職

学生生活

施設

就職・進学

学則・規程

その他

問  
答

2014（平成26）年度 カリキュラム  
工学部第二部 電気電子工学科 授業科目配当表

NE(2014)-1

学 習

UNIVERSITY

共通

NE

NM

NC

資格・教職

学生生活

施設

就職・進学

学則・規程

その他

問合せ

区分	科目名	コマ	単位	必 選 自	配 当 年	配当期	備考	教職	
基礎	東京電機大学で学ぶ	1	2	選	1	半期(前)	導入科目 1年次のみ履修可	コードなし	
	物理学Ⅰ	1	2	選	1	半期(前)		コードなし	
	物理学Ⅱ	1	2	選	1	半期(後)		コードなし	
	物理学Ⅲ	1	2	選	2	半期(前)		コードなし	
	化学Ⅰ	1	2	選	1	半期(前)		コードなし	
	化学Ⅱ	1	2	選	1	半期(後)		コードなし	
	電磁気学	電磁気学および演習Ⅰ	2	4	必	2	半期(前)		160工業
		電磁気学および演習Ⅱ	2	4	選	2	半期(後)		160工業
	回路理論	回路理論および演習Ⅰ	1	2	必	1	半期(前)		160工業
		回路理論および演習Ⅱ	1	2	必	1	半期(後)		160工業
		回路理論および演習Ⅲ	1	2	選	2	半期(前)		160工業
		回路理論および演習Ⅳ	1	2	選	2	半期(後)		160工業
過渡現象		1	2	選	3	半期(前)		160工業	
半導体デバイス・電子材料・物理	物性物理学	1	2	選	2	半期(後)		160工業	
	電子デバイスⅠ	1	2	選	2	半期(後)		160工業	
	電子デバイスⅡ	1	2	選	3	半期(前)		160工業	
	電気電子材料	1	2	選	3	半期(前)		160工業	
	センサ工学	1	2	選	4	半期(前)		160工業	
	光・電磁波工学	1	2	選	4	半期(前)		160工業	
パワーエレクトロニクス・電気機器	電気機器Ⅰ	1	2	選	3	半期(前)		160工業	
	電気機器Ⅱ	1	2	選	3	半期(後)		160工業	
	パワーエレクトロニクス	1	2	選	3	半期(後)		160工業	
	電機設計および電気製図	1	2	選	4	半期(後)		160工業	
計測・制御システム	電気電子計測Ⅰ	1	2	選	2	半期(前)		160工業	
	電気電子計測Ⅱ	1	2	選	2	半期(後)		131情②	
	制御工学Ⅰ	1	2	選	3	半期(前)		131情②	
	制御工学Ⅱ	1	2	選	4	半期(前)		131情②	
	ロボット工学	1	2	選	4	半期(後)		132情③	
電力・エネルギー応用	電力系統工学Ⅰ	1	2	選	3	半期(後)		160工業	
	電力系統工学Ⅱ	1	2	選	4	半期(前)		160工業	
	発電工学	1	2	選	4	半期(前)		160工業	
	高電圧工学	1	2	選	4	半期(後)		160工業	
	電気法規	1	2	選	4	半期(前)		160工業	
電子回路・装置	電子回路Ⅰ	1	2	選	3	半期(前)		160工業	
	電子回路Ⅱ	1	2	選	3	半期(後)		160工業	
	高周波回路	1	2	選	3	半期(前)		160工業	
	無線機器学	1	2	選	4	半期(後)		160工業	
	ユビキタス無線工学	1	2	選	4	半期(前)		160工業	

2014（平成26）年度 カリキュラム  
工学部第二部 電気電子工学科 授業科目配当表

NE(2014)-2

区分	科目名	コマ	単位	必 選 自	配 当 年	配 当 期	備考	教職
専 門 教 育 科 目	コン ピ ユ ー タ ・ 情 報 シ ス テ ム	コンピュータ基礎Ⅰ	1	2	選	1	半期(前)	基礎要件
		コンピュータ基礎Ⅱ	1	2	選	1	半期(後)	131情②
		デジタル回路Ⅰ	1	2	選	2	半期(前)	131情②
		デジタル回路Ⅱ	1	2	選	2	半期(後)	131情②
		計算機アーキテクチャ	1	2	選	3	半期(後)	131情②
		通信方式	1	2	選	3	半期(後)	133情④
		情報理論	1	2	選	3	半期(後)	133情④
		システム工学	1	2	選	4	半期(前)	132情③
		プログラミングおよび演習	1	2	選	2	半期(前)	160工業
	信号処理	1	2	選	3	半期(後)	160工業	
	そ の 他	電気電子工学演習	1	1	必	4	半期(前)	160工業
		通信法規	1	2	選	4	半期(後)	160工業
		品質管理	1	2	選	4	半期(前)	コードなし
		特許法	1	2	選	4	半期(後)	160工業
	実 験	電気電子工学基礎実験Ⅰ	2	2	必	2	半期(前)	160工業
		電気電子工学基礎実験Ⅱ	2	2	必	2	半期(後)	160工業
		電気電子工学実験Ⅰ	2	2	必	3	半期(前)	160工業
		電気電子工学実験Ⅱ	2	2	必	3	半期(後)	160工業
	卒業研究	卒業研究	前1後2	3	選	4	通年	コードなし
	数 学	微分積分学および演習Ⅰ	3	4	必	1	半期(前)	コードなし
		微分積分学および演習Ⅱ	2	4	選	1	半期(後)	コードなし
		線形代数学Ⅰ	1	2	選	1	半期(前)	コードなし
		線形代数学Ⅱ	1	2	選	1	半期(後)	コードなし
		微分方程式Ⅰ	1	2	選	2	半期(前)	コードなし
		微分方程式Ⅱ	1	2	選	2	半期(後)	コードなし
		確率・統計	1	2	選	3	半期(前)	コードなし
		複素解析学	1	2	選	3	半期(後)	コードなし
	教 職 関 連 科 目	コンピュータ基礎および演習Ⅲ	1	2	自	234	半期(前)	131情②
		情報システムの基礎および演習	1	2	自	234	半期(前)	132情③
		情報通信ネットワークの基礎および演習	1	2	自	234	半期(後)	133情④
		マルチメディア表現技術の基礎および演習	1	2	自	234	半期(後)	134情⑤
		職業指導	前1後1	4	自	3	通年	160工業
社 会 人 コ ー ス 公 開 科 目	マルチメディア工学	1	2	選	3	半期(後)	社会人コース公開科目 情⑤	
	デザイン工学	1	2	選	3	半期(前)	社会人コース公開科目 160工業	
	人工環境計画	1	2	選	3	半期(前)	社会人コース公開科目 160工業	
	実用情報処理	1	2	選	3	半期(後)	社会人コース公開科目 情②	
	コンピュータリテラシ	0.5	1	選	3	半期(前)	社会人コース公開科目 160工業	
	ベンチャー企業論	1	2	選	3	半期(後)	社会人コース公開科目 160工業	
	e-ビジネス情報技術	1	2	選	3	半期(前)	社会人コース公開科目 160工業	
	生活支援工学	1	2	選	3	半期(後)	社会人コース公開科目 160工業	
	イノベーション経営論	1	2	選	3	半期(前)	社会人コース公開科目 コードなし	
	エンジニアリングプレゼンテーション	0.5	1	選	3	半期(後)	社会人コース公開科目・隔週開講 コードなし	

新  
入  
生  
へ

学  
習

U  
N  
I  
P  
A

共  
通

N  
E

N  
M

N  
C

資  
格  
教  
職

学  
生  
生  
活

施  
設

就  
職  
・  
進  
学

学  
則  
・  
規  
程

そ  
の  
他

問  
答  
・  
ミ  
ニ

# 専門教育科目

## 【機械工学科 (NM)】

- ・ 人材の養成に関する目的  
その他の教育研究上の目的
- ・ 学位授与の方針  
(ディプロマポリシー)
- ・ 教育課程編成・実施の方針  
(カリキュラムポリシー)
- ・ 教育目標と理念
- ・ 履修モデル
- ・ 授業科目配当表

## 機械工学科の人材の養成に関する目的 その他の教育研究上の目的

機械工学科は、機械技術及び機械システムとその周辺分野に関する基礎から応用までの総合的な知識と技術を有し、現代社会が直面する問題を解決し、進んで社会の発展に寄与することのできる人材を養成することを目的とする。

すなわち、現代社会において必要とされる機械技術とその進展に貢献できる実践的技術者養成のための教育研究を行う。

## 機械工学科の学位授与の方針 (ディプロマポリシー)

工学部第二部の機械工学科は、本学部の学位授与方針をもとに、本学科に所定の期間在学し(※)、以下のすべてを満たした者に対して、学士(工学)の学位を授与します。

- (1) 一般教養、語学とともに、工学全般にわたる広い知識と理解力を有し、さらに、機械工学分野に関する専門知識、並びに、深い考察力と課題解決力を兼ね備えること。
- (2) 機械工学に対する社会的ニーズに基づき、研究課題の提起と解決への指針を明らかにできる能力、学術的な文書能力、研究発表や議論ができる能力を身につけること。

※標準修業年限は4年。

## 機械工学科の教育課程編成・実施の方針 (カリキュラムポリシー)

工学部第二部の機械工学科は、数学、物理、化学を柱として、学生が機械工学分野の基礎を学び、さらに、材料力学、熱力学、流体力学、機械力学、設計・加工学の専門分野を系統的に学習できるように教育課程を編成し、実施します。

また、実験、実習、設計及びワークショップにて、機械工学における実践的な能力を身につけさせます。

## 機械工学科の教育目標と理念

未来を切り開く先端技術のみならず、急速に進展する今日の技術に追随できるように基礎知識を徹底的に理解させるとともに、それを応用して新技術を生み出す能力を育成するための教育と研究に尽力するのが機械工学科である。実際の教育では、「材料と加工」、「エネルギー」、および「情報と機械システム」の3コースを設け、従来の機械工学およびこれに関連する学問の基礎的な知識を深め、それらを柔軟に使いこなす応用力と、新技術を作り出す創造力を身につけることに主眼をおき、広い視野を持った機械エンジニアを育成することを目標としている。教育の基本方針としては、基礎学力を徹底して修得させ、先端技術を理解できる創造性豊かで、視野が広く広範な工学分野をカバーし、新しい技術の習得にも対応でき、さらに、人間にやさしく人間に役立つ機械技術の開発・研究に携わる人材の育成を目指している。

# 機械工学科 コース別履修モデル

(専門選択科目の選択基準)

◎必ず履修すべき科目、○履修を強く勧める科目、△余裕のある限り履修すべき科目

【1・2年次科目】

学年	期	単位	科目名	選択基準
1	前期	2	物理学Ⅰ	◎
1	前期	2	化学Ⅰ	○
1	前期	2	メカトロニクス概論	○
1	後期	2	線形代数学Ⅱ	◎
1	後期	2	物理学Ⅱ	◎
1	後期	2	化学Ⅱ	△
1	後期	2	コンピュータ基礎および演習Ⅱ	○
1	後期	4	微分積分学および演習Ⅱ	◎
2	前期	2	材料工学	○
2	前期	2	微分方程式Ⅰ	○
2	後期	2	材料力学Ⅱ	◎
2	後期	2	機械加工学Ⅱ	○
2	後期	3	機械要素設計および演習	◎
2	後期	2	微分方程式Ⅱ	○
3	前期	2	確率・統計	○
3	後期	2	コンピュータプログラミングおよび演習	○
3	後期	2	電気工学	△
3	後期	2	電子工学	△
3	後期	2	複素解析学	○
4	前期	2	品質管理	△
4	前期	2	オペレーションズリサーチ	△
4	通年	3	卒業研究A	○
4	通年	6	卒業研究B	○

【3・4年次科目】

学年	期	単位	科目名	希望する専門分野別の履修モデル		
				材料と加工	エネルギーと環境	情報と機械システム
3	前期	2	流体の力学Ⅱ	◎	◎	◎
3	前期	2	制御工学Ⅰ	◎	◎	◎
3	前期	2	振動工学Ⅱ	◎	◎	◎
3	前期	2	弾塑性学	○	△	△
3	前期	2	伝熱工学	△	○	△
3	前期	2	熱機関	△	○	△
3	後期	2	材料強度学	○	△	△
3	後期	2	流体機械	△	○	△
3	後期	2	計測工学	△	△	○
3	後期	2	制御工学Ⅱ	○	○	◎
4	前期	2	計算機援用設計	△	△	○
4	後期	2	トライボロジー概論	○	△	△
4	後期	2	エネルギー変換工学	△	○	△
4	前期	2	システム工学	△	△	○
4	後期	2	ロボット工学	△	△	○

大学生活の仕上げとして、状況が許せば卒業研究B、昼間職があるなどの事情でBが取れなくても卒業研究Aを履修することを強く勧める。

新入生へ

学

習

UNIPA

共通

NE

NM

NC

資格・教職

学生生活

施設

就職・進学

学則・規程

その他

問合せ

2014（平成26）年度 カリキュラム  
工学部第二部 機械工学科 授業科目配当表

NM(2014)-1

学 習  
UNIVERSITY  
共通  
NE  
NM  
NC  
資格・教職  
学生生活  
施設  
就職・進学  
学則・規程  
その他  
問

区分	科目名	コマ	単位	必 選 自	配 当 年	配当期	備考	教職
基礎	東京電機大学で学ぶ	1	2	選	1	半期(前)	導入科目	コードなし
	線形代数学Ⅰ	1	2	必	1	半期(前)		コードなし
	線形代数学Ⅱ	1	2	選	1	半期(後)		コードなし
	物理学Ⅰ	1	2	選	1	半期(前)		コードなし
	物理学Ⅱ	1	2	選	1	半期(後)		コードなし
	化学Ⅰ	1	2	選	1	半期(前)		コードなし
	化学Ⅱ	1	2	選	1	半期(後)		コードなし
学科共通 必修科目	微分積分学および演習Ⅰ	3	4	必	1	半期(前)		コードなし
	機械設計製図Ⅰ	2	2	必	2	半期(後)		134情⑤
	機械設計製図Ⅱ	前1後1	2	必	3	通年		132情③
	機械工学実験Ⅰ	2	2	必	2	半期(前)		160工業
	機械工学実験Ⅱ	1	1	必	3	半期(前)		160工業
	機械工学実験Ⅲ	1	1	必	3	半期(後)		160工業
	機械工作実習	前1後1	2	必	4	通年		160工業
材料と加工	材料力学Ⅰおよび演習	1.5	3	必	2	半期(前)		160工業
	材料力学Ⅱ	1	2	選	2	半期(後)		160工業
	機械加工Ⅰおよび演習	1.5	3	必	2	半期(前)		160工業
	機械加工Ⅱ	1	2	選	2	半期(後)		160工業
	材料工学	1	2	選	2	半期(前)		160工業
	弾塑性学	1	2	選	3	半期(前)		160工業
	材料強度学	1	2	選	3	半期(後)		160工業
	トライボロジー概論	1	2	選	4	半期(後)		160工業
エネルギー	工業熱力学および演習	1.5	3	必	2	半期(前)		160工業
	伝熱工学	1	2	選	3	半期(前)		160工業
	流体の力学Ⅰおよび演習	1.5	3	必	2	半期(後)		160工業
	流体の力学Ⅱ	1	2	選	3	半期(前)		160工業
	エネルギー変換工学	1	2	選	4	半期(後)		160工業
	熱機関	1	2	選	3	半期(前)		160工業
	流体機械	1	2	選	3	半期(後)		160工業
情報と機械 システム	メカトロニクス概論	1	2	選	1	半期(前)		131情②
	機械要素設計および演習	1.5	3	選	2	半期(後)		160工業
	振動工学Ⅰおよび演習	1.5	3	必	2	半期(後)		160工業
	振動工学Ⅱ	1	2	選	3	半期(前)		160工業
	制御工学Ⅰ	1	2	選	3	半期(前)		131情②
	制御工学Ⅱ	1	2	選	3	半期(後)		131情②
	計測工学	1	2	選	3	半期(後)		131情②
	システム工学	1	2	選	4	半期(前)		132情③
	ロボット工学	1	2	選	4	半期(後)		132情③
	計算機援用設計	1	2	選	4	半期(前)		134情⑤

2014（平成26）年度 カリキュラム  
工学部第二部 機械工学科 授業科目配当表

NM(2014)-2

区分	科目名	コマ	単位	必 選 自	配 当 年	配当期	備考	教職	
専門教育科目	学科共通科目	工業力学Ⅰおよび演習	1.5	3	必	1	半期(前)		160工業
		工業力学Ⅱおよび演習	1.5	3	必	1	半期(後)		160工業
		コンピュータ基礎および演習Ⅰ	1	2	必	1	半期(前)		基礎要件
		コンピュータ基礎および演習Ⅱ	1	2	選	1	半期(後)		131情②
		コンピュータプログラミングおよび演習	1	2	選	3	半期(後)		131情②
		電気工学	1	2	選	3	半期(後)		160工業
		電子工学	1	2	選	3	半期(後)		160工業
		微積分学および演習Ⅱ	2	4	選	1	半期(後)		コードなし
		微分方程式Ⅰ	1	2	選	2	半期(前)		コードなし
		微分方程式Ⅱ	1	2	選	2	半期(後)		コードなし
		確率・統計	1	2	選	3	半期(前)		コードなし
		複素解析学	1	2	選	3	半期(後)		コードなし
		品質管理	1	2	選	4	半期(前)		コードなし
		オペレーションズリサーチ	1	2	選	4	半期(前)		160工業
		卒業研究A	前1.5後1.5	3	選	4	通年	卒業研究Bと択一選択	コードなし
	卒業研究B	前3後3	6	選	4	通年	卒業研究Aと択一選択	コードなし	
	教職関連科目	コンピュータ基礎および演習Ⅲ	1	2	自	234	半期(前)		131情②
		情報システムの基礎および演習	1	2	自	234	半期(前)		132情③
		情報通信ネットワークの基礎および演習	1	2	自	234	半期(後)		133情④
		マルチメディア表現技術の基礎および演習	1	2	自	234	半期(後)		134情⑤
		職業指導	前1後1	4	自	3	通年		160工業
	社会人コース公開科目	マルチメディア工学	1	2	選	3	半期(後)	社会人コース公開科目	134情⑤
		デザイン工学	1	2	選	3	半期(前)	社会人コース公開科目	160工業
		人工環境計画	1	2	選	3	半期(前)	社会人コース公開科目	160工業
		実用情報処理	1	2	選	3	半期(後)	社会人コース公開科目	131情②
		特許法	1	2	選	3	半期(後)	社会人コース公開科目	160工業
		コンピュータリテラシ	0.5	1	選	3	半期(前)	社会人コース公開科目	160工業
		ベンチャー企業論	1	2	選	3	半期(後)	社会人コース公開科目	160工業
		e-ビジネス情報技術	1	2	選	3	半期(前)	社会人コース公開科目	160工業
		生活支援工学	1	2	選	3	半期(後)	社会人コース公開科目	160工業
イノベーション経営論		1	2	選	3	半期(前)	社会人コース公開科目	コードなし	
ユビキタス無線工学		1	2	選	3	半期(前)	社会人コース公開科目	160工業	
エンジニアリングプレゼンテーション		0.5	1	選	3	半期(後)	社会人コース公開科目・隔週開講	コードなし	

新入生へ

学  
習

UN  
I  
P  
A

共  
通

NE

N  
M

NC

資  
格  
教  
職

学  
生  
生  
活

施  
設

就  
職  
・  
進  
学

学  
則  
・  
規  
程

そ  
の  
他

問  
答  
・  
ミ  
ニ

# 専門教育科目

## 【情報通信工学科 (NC)】

- ・ 人材の養成に関する目的  
その他の教育研究上の目的
- ・ 学位授与の方針  
(ディプロマポリシー)
- ・ 教育課程編成・実施の方針  
(カリキュラムポリシー)
- ・ 教育目標と理念
- ・ 履修モデル
- ・ 授業科目配当表

## 情報通信工学科の人材の養成に関する目的 その他の教育研究上の目的

情報通信工学科は、情報・コンピュータ技術と通信・ネットワーク技術の両分野に関する基礎から応用までの知識と技術を広く総合的に有し、現代社会が直面する問題を解決し、進んで社会の発展に寄与することのできる人材を養成することを目的とする。

すなわち、現代社会において必要とされる情報通信技術とその進展に貢献できる実践的技術者養成のための教育研究を行う。

## 情報通信工学科の学位授与の方針 (ディプロマポリシー)

工学部第二部の情報通信工学科は、本学部の学位授与方針をもとに、本学科に所定の期間在学し(※)、以下のすべてを満たした者に対して、学士(工学)の学位を授与します。

(1) 一般教養、語学、工学全般に関する広い知識と理解力、工学の情報通信工学における「情報・コンピュータ技術」と「通信・メディア処理技術」の両分野に関する知識、かつ深い考察力と課題解決力を兼ね備えること。

(2) 自発性、問題解決能力や実践力、新技術に柔軟に対応し受容するための実践的な適応力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、マネジメント力など、情報通信分野の専門技術者・研究者として自立できる能力と社会性を備える基盤を築いていること。

※標準修業年限は4年。

## 情報通信工学科の教育課程編成・実施の方針 (カリキュラムポリシー)

工学部第二部の情報通信工学科は、基礎学力を柱として、情報通信工学分野の基礎を学び、さらに、情報通信システム、マルチメディア処理、コンピュータネットワーク、コンピュータ応用技術の各分野を系統的かつ専門的に学習できるように、教育課程を編成し、実施します。

また、多岐にわたる情報通信工学分野の応用科目を多数用意し、各自の興味に沿った自由度の高い学習を可能とするとともに、常に科目の見直しを行い、時代に即した知識や技術が修得できるようにします。

さらに、演習、実験、実習を重視し、すべての年次でコンピュータ関連科目及び講義科目と連携した実験科目を配し、基礎力、実践力、思考力、豊かな想像力を確実に養成しつつ、学習意欲の高い学生の実力と個性を伸ばす教育プログラムを提供します。

## 情報通信工学科の教育目標と理念

高度情報社会において情報通信技術は中心的な役割を担っており、その発展が大きく期待されている。この状況を踏まえ、情報通信工学科はコンピュータ、通信、ネットワーク、メディアという4つの技術分野において21世紀の社会に貢献できる技術者、研究者を育成することを目標としている。

教育方針としては、①幅広い分野において基礎学力を身につけさせること、②実験や実習を通して応用力、実践力を鍛えること、③実社会で通用する確かで柔軟な思考力、想像力を養うこと、④国際的、学際的な知識や素養を身につけさせること、⑤日本語、外国語を問わずコミュニケーション能力を持たせること、⑥人間や社会に対して関心や責任をもつ専門家を育てること、を目指している。

# 情報通信工学科 履修モデル

学問分野	情報通信	情報ネットワーク	メディア	情報システム
教育・学習目標	光ファイバ、携帯電話などのさまざまな情報通信システムの原理とその応用について学びます。	インターネットをはじめとする情報ネットワークの基本技術とその応用について学びます。	デジタルメディア情報の処理や創成に関する基本技術とその応用を学びます。	コンピュータの構成や高度利用および人間科学に関する基本技術とその応用について学びます。
1年	前期	情報リテラシー 2 コンピュータプログラミングおよび演習 I 2 情報通信メディア基礎 2 電気回路の基礎および演習 2 微分積分学および演習 I 4 線形代数 I 2 物理学 I 2	情報リテラシー 2 コンピュータプログラミングおよび演習 I 2 情報通信メディア基礎 2 電気回路の基礎および演習 2 微分積分学および演習 I 4 線形代数 I 2	情報リテラシー 2 コンピュータプログラミングおよび演習 I 2 情報通信メディア基礎 2 電気回路の基礎および演習 2 微分積分学および演習 I 4 線形代数 I 2
	後期	コンピュータプログラミングおよび演習 II 2 微分積分学および演習 II 4 線形代数 II 2 基礎情報数学A(離散数学) 2 回路網の基礎 2	コンピュータプログラミングおよび演習 II 2 微分積分学および演習 II 4 線形代数 II 2 メディアの基礎および演習 2 基礎情報数学A(離散数学) 2 情報機器の基礎 2	コンピュータプログラミングおよび演習 II 2 微分積分学および演習 II 4 線形代数 II 2 メディアの基礎および演習 2 基礎情報数学A(離散数学) 2 情報機器の基礎 2
小計	28	26	28	30
2年	前期	情報通信基礎実験 I 2 エレクトロニクスの基礎 2 コンピュータ構成と機械語 I 2 基礎情報数学B(確率と情報) 2 信号理論 2 データ構造とアルゴリズム I 2 電磁気学の基礎および演習 3	情報通信基礎実験 I 2 エレクトロニクスの基礎 2 コンピュータ構成と機械語 I 2 データ構造とアルゴリズム I 2 基礎情報数学B(確率と情報) 2 信号理論 2 電磁気学の基礎および演習 3	情報通信基礎実験 I 2 微分方程式 I 2 コンピュータ構成と機械語 I 2 データ構造とアルゴリズム I 2 基礎情報数学B(確率と情報) 2 信号理論 2
	後期	情報通信基礎実験 II 2 基礎情報数学C(代数と符号) 2 エレクトロニクスの応用 2 信号システム解析 2 通信工学の基礎 2 電磁気学の応用 2	情報通信基礎実験 II 2 インターネットプログラミング 2 基礎情報数学C(代数と符号) 2 エレクトロニクスの応用 2 信号システム解析 2 通信工学の基礎 2	情報通信基礎実験 II 2 インターネットプログラミング 2 基礎情報数学C(代数と符号) 2 論理回路および論理設計 2 コンピュータグラフィックスとアニメーション 2
小計	27	27	22	20
3年	前期	情報通信工学実験 I 2 デジタル信号処理 2 応用物理学 2 通信システム 2 電波工学 2	情報通信工学実験 I 2 データ構造とアルゴリズム II 2 デジタル信号処理 2 通信システム 2	情報通信工学実験 I 2 データ構造とアルゴリズム II 2 データベース 2 コンピュータグラフィックスとモデリング 2
	後期	情報通信工学実験 II 2 通信ネットワーク 2 情報ネットワーク I 2 計測と制御 2	情報通信工学実験 II 2 通信ネットワーク 2 情報ネットワーク I 2 オブジェクト指向分析・設計 2 ネットワークセキュリティ 2	情報通信工学実験 II 2 情報ネットワーク I 2 オブジェクト指向分析・設計 2 ネットワークセキュリティ 2
小計	18	20	16	16
4年	前期	情報通信プロジェクト(通年) 4 卒業研究AまたはB(通年) 2/4 情報ネットワーク II 2 ワイヤレスシステム工学 2 光ファイバ通信 2	情報通信プロジェクト(通年) 4 卒業研究AまたはB(通年) 2/4 情報ネットワーク II 2 ワイヤレスシステム工学 2 光ファイバ通信 2	情報通信プロジェクト(通年) 4 卒業研究AまたはB(通年) 2/4 情報ネットワーク II 2 音メディア情報学 2 画像処理工学 2
	後期	通信法規 2	情報システム論 2 メディア表現学 2 ヒューマンインタフェース 2 情報システム論 2	ディジタルシステム設計・実装論 2 ヒューマンインタフェース 2 情報システム論 2
小計	14/16	14/16	18/20	18/20
総計	87/89	87/89	84/86	84/86
合計科目数	38	38	37	38

- ・ は必修科目
- ・ 社会人コースでは、必修科目を選択科目として取り扱います。
- ・ これはあくまで履修する上で参考とするモデルであり、複数の分野にまたがって選択しても全く構いません。

新入生へ

学  
習

UN  
IPA

共  
通

NE

NM

NC

資  
格  
教  
職

学  
生  
生  
活

施  
設

就  
職  
・  
進  
学

学  
則  
規  
程

そ  
の  
他

問  
答  
・  
シ  
ン

2014(平成26)年度 カリキュラム  
工学部第二部 情報通信工学科 授業科目配当表

NC(2014)-1

区分	科目名	コマ	単位	必 選 自	配 当 年	配 当 期	備考	教職	
専 門 教 育 科 目 A	基礎1	東京電機大学で学ぶ	1	2	選	1	半期(前)	導入科目	コードなし
		微分積分学および演習 I	3	4	選	1	半期(前)		コードなし
		微分積分学および演習 II	2	4	選	1	半期(後)		コードなし
		線形代数学 I	1	2	選	1	半期(前)		コードなし
		線形代数学 II	1	2	選	1	半期(後)		コードなし
		微分方程式 I	1	2	選	2	半期(前)		コードなし
		物理学 I	1	2	選	1	半期(前)		コードなし
		情報リテラシー	1	2	必	1	半期(前)		160工業
		コンピュータプログラミングおよび演習 I	1	2	必	1	半期(前)		基礎要件
	基礎2	情報通信メディア基礎	1	2	必	1	半期(前)		133情④
		電磁気学の基礎および演習	1.5	3	選	2	半期(前)		160工業
		メディアの基礎および演習	1	2	選	1	半期(後)		160工業
		電気回路の基礎および演習	1	2	必	1	半期(前)		160工業
		エレクトロニクスの基礎	1	2	選	2	半期(前)		160工業
		情報機器の基礎	1	2	選	1	半期(後)		160工業
		コンピュータプログラミングおよび演習 II	1	2	必	1	半期(後)		131情②
		コンピュータ構成と機械語	1	2	選	2	半期(前)		160工業
		データ構造とアルゴリズム I	1	2	選	2	半期(前)		131情②
		データ構造とアルゴリズム II	1	2	選	3	半期(前)		131情②
実 験	インターネットプログラミング	1	2	選	2	半期(後)		133情④	
	基礎情報数学A(離散数学)	1	2	選	1	半期(後)		コードなし	
	基礎情報数学B(確率と情報)	1	2	選	2	半期(前)		コードなし	
	基礎情報数学C(代数と符号)	1	2	選	2	半期(後)		コードなし	
	卒業研究A	前1後1	2	選	4	通年	卒業研究Bと択一選択	コードなし	
	卒業研究B	前2後2	4	選	4	通年	卒業研究Aと択一選択	コードなし	
	情報通信基礎実験 I	2	2	必	2	半期(前)	情報通信基礎実験と同時開講	160工業	
	情報通信基礎実験 II	2	2	必	2	半期(後)	情報通信基礎実験と同時開講	160工業	
	情報通信工学実験 I	2	2	必	3	半期(前)	情報通信工学実験と同時開講	131情②	
	情報通信工学実験 II	2	2	必	3	半期(後)	情報通信工学実験と同時開講	131情②	
情報通信プロジェクト	前2後2	4	必	4	通年		132情③		
専 門 教 育 科 目 B	情 報 通 信 ・ ネ ッ ト フ ォ ー キ ン グ	回路網の基礎	1	2	選	1	半期(後)		160工業
		エレクトロニクスの応用	1	2	選	2	半期(後)		160工業
		信号システム解析	1	2	選	2	半期(後)		160工業
		デジタル信号処理	1	2	選	3	半期(前)		160工業
		応用物理学	1	2	選	3	半期(前)		160工業
		電磁気学の応用	1	2	選	2	半期(後)		160工業
		電波工学	1	2	選	3	半期(前)		160工業
		信号理論	1	2	選	2	半期(前)		160工業
		通信工学の基礎	1	2	選	2	半期(後)		160工業
		通信システム	1	2	選	3	半期(前)		160工業
		通信ネットワーク	1	2	選	3	半期(後)		133情④
		情報ネットワーク I	1	2	選	3	半期(後)		133情④
		情報ネットワーク II	1	2	選	4	半期(前)		133情④
		ワイヤレスシステム工学	1	2	選	4	半期(前)		160工業
光ファイバ通信	1	2	選	4	半期(前)		160工業		
計測と制御	1	2	選	3	半期(後)		131情②		

2014（平成26）年度 カリキュラム  
工学部第二部 情報通信工学科 授業科目配当表

NC(2014)-2

区分	科目名	コマ	単位	必 選 自	配 当 年	配当期	備考	教職	
専門教育科目B	マルチメディア・コンピューティング	コンピュータグラフィックスとアニメーション	1	2	選	3	半期(前)		134情⑤
		コンピュータグラフィックスとモデリング	1	2	選	2	半期(後)		134情⑤
		音メディア情報学	1	2	選	4	半期(前)		134情⑤
		画像処理工学	1	2	選	4	半期(前)		134情⑤
		メディア表現学	1	2	選	4	半期(後)		134情⑤
		データベース	1	2	選	3	半期(前)		132情③
		オブジェクト指向分析・設計	1	2	選	3	半期(後)		160工業
		情報システム論	1	2	選	4	半期(前)		132情③
		ヒューマンインタフェース	1	2	選	4	半期(後)		160工業
		論理回路および論理設計	1	2	選	2	半期(後)		160工業
		ディジタルシステム設計・実装論	1	2	選	4	半期(前)		160工業
		コンピュータアーキテクチャ	1	2	選	3	半期(前)		160工業
		ネットワークセキュリティ	1	2	選	3	半期(後)		133情④
	その他	通信法規	1	2	選	4	半期(後)		160工業
		モバイルシステム技術Ⅰ	1	2	選	3	半期(後)		コードなし
		モバイルシステム技術Ⅱ	1	2	選	4	半期(後)		コードなし
	教職関連科目	コンピュータ基礎および演習Ⅲ	1	2	自	234	半期(前)		131情②
情報システムの基礎および演習		1	2	自	234	半期(前)		132情③	
情報通信ネットワークの基礎および演習		1	2	自	234	半期(後)		133情④	
マルチメディア表現技術の基礎および演習		1	2	自	234	半期(後)		134情⑤	
職業指導		前1後1	4	自	3	通年		160工業	
専門教育科目	社会人コース公開科目	マルチメディア工学	1	2	選	3	半期(後)	社会人コース公開科目	134情⑤
		デザイン工学	1	2	選	3	半期(前)	社会人コース公開科目	160工業
		人工環境計画	1	2	選	3	半期(前)	社会人コース公開科目	160工業
		実用情報処理	1	2	選	3	半期(後)	社会人コース公開科目	131情②
		特許法	1	2	選	3	半期(後)	社会人コース公開科目	160工業
		品質管理	1	2	選	3	半期(前)	社会人コース公開科目	コードなし
		コンピュータリテラシ	0.5	1	選	3	半期(前)	社会人コース公開科目	160工業
		ベンチャー企業論	1	2	選	3	半期(後)	社会人コース公開科目	160工業
		e-ビジネス情報技術	1	2	選	3	半期(前)	社会人コース公開科目	160工業
		生活支援工学	1	2	選	3	半期(後)	社会人コース公開科目	160工業
		イノベーション経営論	1	2	選	3	半期(前)	社会人コース公開科目	コードなし
		ユビキタス無線工学	1	2	選	3	半期(前)	社会人コース公開科目	160工業
		エンジニアリングプレゼンテーション	0.5	1	選	3	半期(後)	社会人コース公開科目・隔週開講	コードなし

新入生へ

学  
習

UN  
IPA

共通

NE

NM

NC

資格  
教職

学生  
生活

施  
設

就職  
・進  
学

学  
則  
規  
程

そ  
の  
他

問  
答  
マ  
ス  
ク